

安倍総理 対ASEAN外交5原則発表(平成25年1月)
(4)アジアの多様な文化、伝統を共に守り、育てていく。

総理のイニシアチブによる新しいアジア文化交流政策である「**アジアの新文化創造**」を実現するため、**アジア文化交流懇談会**を設置

<アジア文化交流懇談会 提言骨子>

- ・芸術・学術の様々な分野における**双方向の交流とネットワークの強化・人材育成**
- ・文化交流の最も重要なツールであると同時に文化交流そのものでもある、**日本語学習に対して支援**

<アジア文化交流強化事業> 【200億円】

ASEAN諸国を対象とするアジアと日本との文化交流を抜本的に強化するため、「**芸術文化の双方向の交流**」、「**日本語教育支援**」を核とする新しい文化交流政策に基づく事業を、東京オリンピック・パラリンピックが開催される**2020年までの期間に集中的に実施**

1. 芸術・文化の双方向交流強化事業

【64億円】

日本とアジアの芸術家、文化人、知識人などの**文化の担い手のネットワーク化を促進**し、そのネットワークの中で生まれるアジアの新しい文化創造に向けた**協働作業を推進**するとともに、アジア域内の**市民の相互理解を促進**する取組みを実施。

①文化の担い手によるアジア新文化創造推進事業 【40億円】

文化の担い手のネットワーク促進のため**1000人超の人的交流**を実施し、舞台芸術、美術、映像等の様々な分野で**140件以上の協働事業**を主催・支援。

②アジア市民相互理解促進事業 【24億円】

各国の現地機関と連携して、アジア市民の相互理解促進のため、市民を対象とした**各国の文化紹介、情報提供事業**や、アジアの市民が**相互に直接交流する事業**等を展開。

2. アジア諸国における日本語学習支援事業

【136億円】

現地の日本語教育機関の活動を支援し、日本語学習者や日本文化に関心を持つ人々の学習意欲の向上、日本人との交流機会の増加を図るため、**日本から人材を派遣**。

日本語パートナー派遣事業 【136億円】

日本から、学生やシニア層を中心とした人材を、ASEAN各国の高等学校等に**延べ3000人以上派遣**。

<文化のWA(和・環・輪)プロジェクト ～知り合うアジア>

上記に国際交流基金における運営費交付金事業を加え、2020年までの期間に【300億円】以上の事業を実施

日ASEAN特別首脳会議において総理が表明(平成25年12月)